

進級・就学まで残り1か月となり、お子さんも様々な活動や行事を通して心も身体も成長され喜びを感じていることと思います。その反面育ちについての悩みも尽きないのではないのでしょうか。今回はアンケートで多かったお子さんの育ちについて、園での対応と公的な相談窓口をご紹介します。



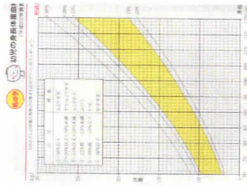
身体の発達や行動について

- ・身体の発育が気になる

子どもの体の大きさが年齢の平均より小さい？太っている？など心配になることがあると思います。パーセントイル曲線のように身長、体重平均のわかる表もありますので、グラフに当てはめて平均に入っているか、曲線の伸び方はどうかなど確認してみてください。園では、6、9、12か月児を対象にした乳児健診や年2回の幼児健診で共愛会病院の小児科医が子ども達の健康状態を診てくれていますので、その時に相談することもできます。



パーセントイル曲線とは、各年齢で子どもの体重身長の目安がわかるものです。グラフの帯から外れていても発育曲線のカーブによって身長も体重も増えていたからその子なりの発育となります。



左のパーセントイル曲線は母子手帳に記載されているものです。ぜひ参考にしてみてください。

〈園とつながっている関係機関 保健師さん〉  
健診のときにお世話になる保健師さん。実はとても身近な存在です。子どものこと、育児のことと、電話での相談や家庭訪問、時には園に様子を見に来てください。子どもも、保健センターのホームページにも、育児のことなどが書かれていますのでご覧ください。言葉については「ことばの教室」発達について「はこだて療育センター」などの機関もあります。その他、民間の支援窓口もありますので、まずは園にご相談ください。



【子育て本の紹介】

「発達障害」だけで子どもを見ないで その子の「不可解」を理解する  
著者 ころとそぞちのクリニック院長 田中康雄  
親の戸惑い・悩み・困っていることをどう理解すればよいのか、どう関わり続けていけばよいのかを医師でもある田中先生が子どもたちの12のストーリーを例に、その子の気持ちや想像し、困っていることを探りながら解説しています。子どもの「なぜ?」「どうして?」の行動に、悩める親や私たち保育者にヒントを与えてくれる一冊です。

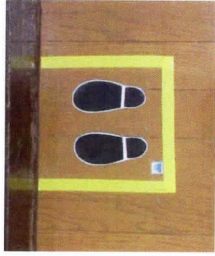
行動について



- ・こだわりが強い (いつも同じ場所や物にこだわることが多い)
- ・落ち着きがない

園ではお父さんが安心して、見通しを持って生活できるように様々な工夫をしています。例えば掲示物を使って1日のスケジュールや自分の場所がわかるようにしたり、子ども自身が見て気付いたり、確認できるような環境にしています。また、長時間に及び活動の中で待つことの苦しさを感じているお子さんへは、リフレッシュできる時間をつくって気分転換をはかり活動に集中できるようにしています。

【自分の場所がわかる工夫】

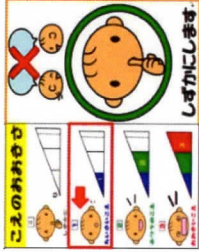


カバン、靴を置く場所をわかりやすくしています。わかりやすく工夫することで迷わず置くことができ、安心して過ごせます。

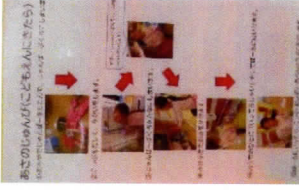
自分の場所が分かるようにシールやシールを貼っています。遊ぶコーナーに自分の写真や名前を椅子や机に貼ることで、場所がわかり安心して活動ができます。

【声の大きさ】

- 0～静かに
- 1～小さい声
- 2～普通の声
- 3～大きい声



【声の大きさを知らせる時】  
場面に合った声の大きさを気付かせたい時に声のボリュームを絵で知らせています。上記の掲示物を見せ知らせるとわかりやすいです。例えば「1の声だよ」などの声掛けをしています。



① 活動の流れ

② 1日の流れ

【活動の流れ】  
生活や活動の流れを写真や絵で知らせることで、自分で見通しを持って活動できます。

- 1, シャンバーを脱ぎます
- 2, シャンバーを袋にしまします

写真に言葉を添えて知らせています。一日の流れに見通しを持つことができるので安心して生活ができています。

毎日、子育てする中でたくさんの方の発見もあれば、悩むこともあると思います。大人でも子どもでも、得意なことあれば不得意なこともありますよね。得意なことは、どんどん取り組むことができますが、苦手なことは何度やっても上手いかわりに落ち込んでしまう経験があったと思います。子どもにとって周囲の大人の接し方はとても大きな影響を与えるものです。子どもの個性を理解し、「どのように伝えようと上手いのか?」「どのような環境を整えたいか?」などの工夫により、子どもの「できた」「大好き」を増やすことで、自己肯定感も育っていくと思います。お子さんのペースに合わせた、成長を見守っていただく一番良いことですね。これからは保護者の方と一緒に私たち保育者も成長を喜びあい、子ども達一人一人の個性を大切に、これからの保育をすすめていきたいと思っています。